

今週（8月24日から8月28日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、0.977～0.978%近辺での出合いが中心となり、加重平均レートも週を通して0.977～0.978%となった。市場残高は3兆円台半ばと概ね先週と同水準で推移した。

ターム物については、保険業態による付利以下での運用と、証券業態や一部銀行業態による実需での調達为中心となり、幅広い期間で引き合いが散見された。0.9%台後半～1.4%程度で出合いが見られ、特に9月会合や9月末を越えるタームではビッド水準を引き上げる動きが見られた。

日銀当座預金残高は、国債の発行や償還はあったものの週を通して大きく増減せず、423兆円台後半から425兆円台前半で推移した。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場GC T/N物の出合い水準は、1.005%前後で推移した。
SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。
28日に実施された3M物入札では無難な結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産業、食料品業、機械業など複数の業態が大型発行を実施した。
市場発行残高は週を通して25兆円台で推移した。
発行レートは引き続き1.0%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線によりばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/24 (月)	65,528.09	2.880	158.78	0.977	1.000	4,251,300
8/25 (火)	65,856.43	2.890	159.18	0.977	1.000	4,248,500
8/26 (水)	66,262.16	2.885	159.11	0.978	1.000	4,238,900
8/27 (木)	66,131.98	2.890	159.17	0.977	1.000	4,233,200
8/28 (金)	66,405.56	2.926	159.36	0.977	1.000	4,243,700

翌週（8月31日から9月4日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/31（月）	*7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) *7月の自動車生産・輸出実績(各社 13:00頃) *7月の貸出約定平均金利(日銀 8:50) *7月の決済動向(日銀 11:00)		*London祝日(Summer Bank Holiday)
9/1（火）	*7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) *8月の日銀当座預金増減要因と金融調節(日銀 13:00) *8月の債券市場サーベイ(日銀 16:00)	10Y物 9/2発行 26,000億円	*8月のユーロ圏消費者物価指数速報値 *8月の米製造業PMI改定値 *8月のISM製造業景況指数
9/2（水）	*8月のマネタリーベース(日銀 8:50) *高田日銀審議委員挨拶(札幌市金融経済懇談会 10:30)		*8月の米ADP雇用統計 *7月の米製造業新規受注 *米ページブック
9/3（木）	*9月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	30Y物 交付税借入 9/4発行 9/11借入 6,000億円 12,000億円	*7月の米貿易収支 *8月のISM非製造業景況指数
9/4（金）	*7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) *7月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	TDB3M物 9/7発行 35,000億円	*8月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/31（月） 日銀予想	700	4,500	5,200	国債補完供給 社債等買入	500 ▲ 600		▲ 100	5,100	TDB3M発行▲37,000 償還44,000 交付税特会借入▲12,000 期日12,505 地方譲与税譲与金
9/1（火） 弊社予想	300	▲ 42,000	▲ 41,700				0	▲ 41,700	2Y発行▲28,000 償還14,200
9/2（水） 弊社予想	300	▲ 40,000	▲ 39,700	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 47,700	10Y発行▲26,000 交付税特会借入▲12,000 償還12,500
9/3（木） 弊社予想	▲ 300	▲ 4,000	▲ 4,300				0	▲ 4,300	
9/4（金） 弊社予想	500	▲ 8,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	30Y発行▲6,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、今週と同水準での推移が見込まれ、無担保コールON物は0.977～0.978%近辺での出会いが中心となることが予想される。ターム物の出会いの中心も引き続き0.9%台後半～1.4%程度になると思われるが、9月末を越えるターム物についてはさらにレートを引き上げる動きが見られる可能性もある。債券レボ市場は、GC T/N物のレートは引き続き1.005%前後の推移を予想する。短国市場は、9月4日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどこまで膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では31日(月)に7月の鉱工業生産速報、1日(火)に7月の労働力調査(完全失業率)、8月の債券市場サーベイ、2日(水)に高田日銀審議委員挨拶(札幌市金融経済懇談会)、4日(金)に7月の全世帯家計調査、7月の毎月勤労統計調査速報などが公表予定である。海外では1日(火)に8月のユーロ圏消費者物価指数速報値、8月の米製造業PMI改定値、8月のISM製造業景況指数、2日(水)に8月の米ADP雇用統計、米ページブック、3日(木)に8月のISM非製造業景況指数、4日(金)に8月の米雇用統計などが公表予定である。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。